



Joyful Naturalist

Joyful Naturalist は「鶴見川源流ネットワーク」の通信から「特定非営利活動法人 鶴見川源流ネットワーク」の情報誌に生まれ変わりました。

Contents

- Topics
 - * 源流ネットの鶴見川流域クリーンアップ月間(8月)
 - * 東京都河川愛護月間・東京の川の「お気に入りスポット」に応募
- NPO法人鶴見川源流ネットワークプロジェクト活動
NPO法人鶴見川源流ネットワークとして推進しているプロジェクト活動の紹介です。
- 鶴見川源流ネットワーク参加団体活動
鶴見川源流ネットワークとして連携している諸団体から依頼されて広報するページです。
- 7月、8月の活動報告
- 9月、10月の活動予定

No.159

★杉谷戸に源流の水辺再生へ



田中谷戸の流れの分流を受ける上流端の池



調整池には、大きなタタキ、ヒメガマの茂る池

<はなみずきの丘>の公園に、鶴見川源流の新しい水辺が姿を現します。当地は、かつて杉谷戸とよばれた鶴見川源流の一隅。雑木林の斜面に沿って源流の泉に由来する鶴見川本流の細流が流れ、清流魚が賑やかにくらししていました。新橋の上手で大きく蛇行するあたりは、スナヤツメ、ギバチ、アブラハヤの大繁殖地にもなっていました。その一帯がまちづくりの計画地となり、私たちが源流の魚たちの本格的な避難を実施したのは1995年の冬。それから12年。土地区画整理事業によって杉谷戸は<はなみずきの丘>として生まれ変わり、公園整備も完了まじかとなりました。ボランティア作業でずっと応援もさせていただいてきたその整備の中で、源流の流れ300メートルほどが田中谷戸清流の本格的再導入をうけて再生され、またかつての蛇行地帯に造成された多自然型調整池が清流と池の複合されたユニークな水辺として再生されつつあります。町田市への移管が完了すれば、秋、10月にも、安全地帯に避難した清流の生きものたちの子孫たちが、無事、帰還するはず。TRネット創設を記念して1991年に実施された源流シンポジウム以来、16年におよぶ私たちの夢がかない、流域にも報告し、祝う日が、やってきます。

【NPO法人鶴見川源流ネットワーク代表 岸 由二】